



# おかむら通信 第121号

平成27年5月



ごあいさつ

皆様、お元気にお過ごしですか？ どうも4月下旬から何か起きていますね。いい意味でも悪い意味でも何かを感じずる瞬間でした。さあ5月です、気持ち新たに、ちいさな努力を積み重ねながら、皆様の健康と幸せを祈って、毎日毎日、生きてゆきましょう。

今月の言葉

「戦争の記憶が薄れようとしている今日、謙虚に過去を振り返るとともに、戦争を体験した世代から戦争を知らない世代に、悲惨な体験や日本がたどった歴史が正しく伝えられてゆくことが大切であると考えています。

皇太子の会見より 平成27年2月20日

さらなる前進を目指します

このところあたらしいCTの話が多かったですが、さらに当院が「ペインクリニック（麻酔科）」を標榜している折、さらに皆様の辛い体の痛みを改善すべく、あたらしい治療機器（DMC 直流微弱電流療法）を導入します。マレーシアで経験したドクター・ガンガの電気治療に近い療法と考えられてもいいでしょう。

院長の感じたこと、

\*病気において、奇跡はじぶんで起こせませぬ、ただし一人ではできません。医師・看護師・ご家族、そして自分も一緒にがんばると、それが可能になりますよ。

\*あたらしいCTスキャンが登場します。いやすでに登場しています。正式には2015/05/01から厚生局にて64列以上のCTスキャンとして認可されました。待合室に近々アピールボードを設置致します。

\*高血圧の理解のために

いまだに血圧の上がり下がり一喜一憂される方がおられますね。ご自分の目標平均血圧をご理解ください。例えば、ご高齢の方138/88、若い方128/76などとして、+-20前後はあたりまえですよ。診察室でまたお話ししましょう。

\*被ばく低減、

一般にレントゲンを浴びるあらゆる検査は、意外にも身近にたくさんあります。マンモグラフィもそうです。妊娠初期はもちろん、そう何回も取るものではありません。したがって乳がん専門医は診断率と共にこの面からも検診はデジタルエコーとマンモを隔年で行う事を進めています。

\*自ら考える習慣

医療においても、この考えがとても大切になります。自ら考えると、おっくうな事や、ちいさな困難にぶつかったりします。流れに任せて、ルンルンと生きた方がいいように思えますが、そうではありませんよ。さまざまな方向から現実をとらえ、疑問を感じ、人に聞き（できれば専門家・TV・うわさ・友人からの何気ない不用意な助言ではありません）、そうして自分で考えて、判断してください。そう難しく考え込む事でも







ありません。

**\*ネガティブな経験**

セカンドオピニオンのために、別の病院に向かおうとしたら、前の病院の医師 看護師、事務、その他のスタッフが患者さんを囲み、徹底的な説得を行い、結局この患者さんは彼らの言いなりになってしまった、という事例に遭遇しました。なぜかとっても嫌な感じがしました。皆様はどう感じますか？

**\*もし乳がんが心配なら**

検診もいいですが、当院のデジタルエコーとエラストグラフィーをしてみてください。乳腺専用のエコーとがん専門病院クラスでなければ設置していないエラストグラフィー（保険外ですが）でお待ちしています。

**\*症状がない**

長い間、クリニックにかかっている、見つからず、すでに進行した疾患を有されて掛かれる患者さんが増えています。糖尿病・高血圧・高脂血症、それぞれ初期・170mmhg 以上・TC280、LDL-C280などはよくあります。調べさせていただくとすでに頸動脈に明らかなプラーク、ちいさな多発性脳梗塞、冠動脈硬化、腎機能低下も目立ちます。なぜなら自覚症状があまり出ないからかもしれません。

**\*膵疾患について**

長い間当院で膵臓の病変をみてきましたが、ほかの医療機関で発見されずに来たこの病気は、とても多く感じられます。一般的に「発見しにくい」といわれるにしても、ドックや検査をしても、微妙な変化は見逃すか、重要視されない傾向にあるように思えます。当院で行うエコーやCT スキャンなど（血液検査も含め）ごく一般の方にも、膵の腫大、低エコー化、著明な萎縮、膵組織の微妙な変化、石灰化、のう胞なども多くみられます。とくに食事不節制、若い人の飲酒習慣は、結構、デジタルエコーでも画像に出ます。つまり将来の慢性膵炎や発がんなどに至らないように早くから我々ドクターもこの結果から、様々なご指導が必要ではないでしょうか？

**○4月の院長の活動紹介**

03/（金）日立メディコ・Eさんと細かな調整（新式CTについて） 当院

6/（月）ロンドンの総合診療医ドクターTanner\* 当院見学と意見交換

イギリスの医療事情アップデート・光と影 なんでも両面ありますね。総合診療のメッカである英国ですが、反面、国の政策に現場の医師や国民は必ずしも納得のいくことばかりではないようです。タナー先生は、当院の姿勢・設備（開業医クラスでの）・医療内容（軽重、バラエティに富んだ）に驚きまた大変な評価をしていただきました。\*University College Hospital London/ Dr. Gregory Tanner

6/（月）千葉大学医学部教授、高林克日己先生 来院 松戸の在宅医療貢献のため

19/（日）小児夜間急病センター当直へ 午後6時から9時まで 松戸市立病院にて

22/（水）松戸市医師会医療情報ネットワーク懇親会/日本の医療のICTなどについて

30/（木）松戸市医師会定例理事会



春のうららがさから、あ、と 言う間に初夏の木葉は  
風を感じる 今日このごろです。みなさん体調に  
気をつけて 水分補給はこまめにしましょう。 担当 石原

